

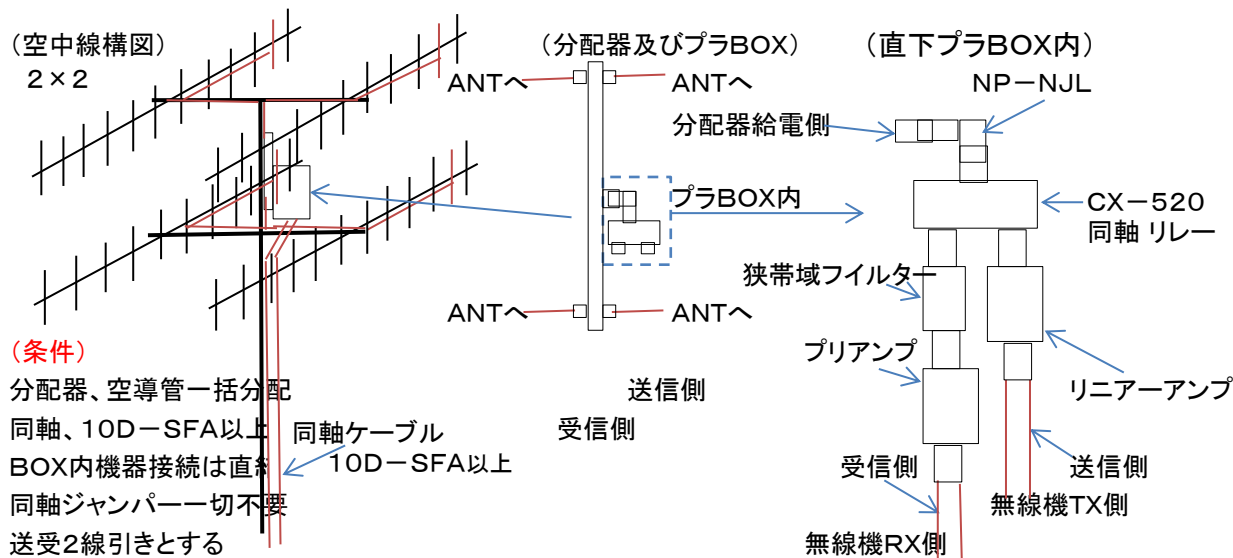
430Mhz、DX通信への理想的な設備とは、

普段はダクトが発生しない限りは、遠くとは交信しない局には、無関係ですが、普段でも出来れば遠くと交信したいと言う局は多いものです。でも、設備が伴わなくて、と諦めて遠くと交信している局の交信を聞いて、「俺にも聞こえないかな〜」なんて聞き耳を立てて、タヌキワッチしている局も多いと思いますが「でも、あの局とんでもない設備だから、・・・」、そうですネ、太刀打ち成りません。

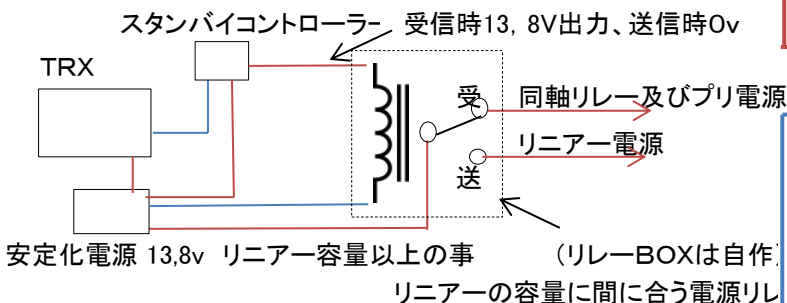
では、どう言った設備の違いが有るのでしょうか？ アンテナ？「4パラ2段だもの」プリアンプ？ Etc、「市販品かな〜」同軸？「太いの使ってたな〜10D-SFA、かな〜」「リニアアンプ掛けるよな〜」成る程！太刀打ち出来ませんよね。DXerの場合、アンテナは平均して24エレ程度、×2枚の2段、メーカー製ならどのメーカーでも、利得に大した変わりはありません。そりゃー、スタックだけでは、利得の差は大きいですよ、プリアンプについては、市販のメーカー品で有れば、メーカーに依っての差は相当の違いが有ります。性能表示はスゴイ表示をして居ますが、取り付けて聞いて見たらノイズも一緒に上がって来て、針だけ振れるが、ノイズが邪魔で変調が取れないなんて、ノイズを含めた利得表示？(笑)

ゲインばかり気にして居るより、NFの表示を重んじて下さい。プリはゲインの利得はともかく、NFが問題で、低ければ変調は浮いて来ます。同軸ケーブルですネ。そりゃ〜太い方が効率は良いですよ、ロスも少ないし、「金、掛けてるもんな〜、」アマチュア無線って、金掛かるんですよ。でも、そんな局に少しは近づける事は出来ますよ。宝くじにでも、当たれば、良いですが・・・、下の系統図をご覧ください。

少しずつ、近づけましょう。聞こえるって事は、普通なら飛んで行くって事です。あくまで普通ならではの条件です。中には普通で無いのが居ますので、聞こえて来ますよ。



プリアンプ及びリニアアンプ及び同軸リレー関係の電源コントロール



送信時にはプリの電源が、OFF状態の為、プリのデバイスが保護され、リニア電源だけがONと成る

電源のリレーは2回路にしてマイナス側の制御も、同時にしても良いが同軸シールドがマイナス及び、アースマイナスで必要無い、取付けボルトからのマイナス供給で良し。